



前会長田村氏と新会長沓掛氏

**沓掛英二新会長に
10年在任の田村駿会長が
バトンタッチ！**



連合駿台会報

No.379 令和8年7月15日発行
発行・編集 連合駿台会
 発行人 広報委員長・平田静子
 編集人 事務局・平田静子・根田吉雄
 〒101-0052 千代田区神田小川町三十二
 明治大学「紫紺館」内
 電話 (〇三) 三二九六―四七四七
 印刷 有限会社 美創

令和八年五月十五日(水) 十八時よりホテルオークラ東京「オーチャードルーム」にて、第七十二回連合駿台会通常総会が開催され百五十名を超える参加がありました。

冒頭、逝去会員四名のご冥福を祈り黙祷を捧げ、田村駿会長の挨拶で総会が始まり、各委員会委員長より令和七年度事業報告と収支決算報告及び監査報告、また令和八年度事業計画(案)と収支予算(案)が上程され全ての議案が承認可決されました。今総会では規約の一部改正と役員改選があり、長年にわたる当会の発展にご尽力された田村駿会長から沓掛英二新会長にバトンが引き継がれ、各委員会も刷新されました。

組織・会員増強委員会は高澤徹委員長から馬場範夫新委員長に、広報委員会は齋藤柳光委員長から平田静子新委員長に、監事は小山修監事が退任され渡邊建三監事と中根武監事の体制となりました。田村会長を始め、この度ご退任された委員長や監事の方々のご功績とご尽力に深く感謝を申し上げます。

また、これまでは委員会の構成員は理事のみとなっていました。規約の一部が改正され、活動が多岐にわたる委員会の充実を図る目的と、退会防止や会員との親睦、会の活性化を図る目的で委員会に理事以外の会員を受け入れることとなり、理事会の承認を受けた委員を大幅に増員し新体制が始動となりました。沓掛英二新会長のもと、全会員が一丸となって連合駿台会のさらなる飛躍と発展に尽力していくことに期待しております。

第二部の懇親会では、学校法人明治大学柳谷孝理事長のご挨拶と乾杯で幕を開け、ホテルオークラ東京の池田料理長によるコーストビーフを含む春のフルコースが提供され、美味しい料理を堪能しながら会員同士の懇親を深めました。後半には歌手・作曲家・俳優などマルチに活躍する宇崎竜童氏(一九六九年法学部卒)によるコンサートとトークで大いに盛り上がりしました。



連合駿台会

新会長よりメッセージ

第6代会長 杓掛 英二



明治大学のOB・OGで経済、法曹、文化など各界で活躍する交友が集う組織

我々の「連合駿台会」は、歴史的には1953年（昭和28年）設立のOB・OGの経済人の集い「茗水クラブ」と1964年（昭和39年）設立の政財界、学会人などの「明友クラブ」が2002年（平成14年）7月に統合して設立し歴史とともに志ある交友組織であります。各界で活躍する会員が母校の発展に寄与することを目的に、相互に交流するとともに知識を深め、連携を図りながら時代に適応して発展活動してきています。

愛する我が母校は建学の精神であります「権利自由」「独立自治」のもと、多様な「個」を強くする大学理念、そして個を磨き、自ら切り開く「前へ」の精神を堅持し、社会のあらゆる場面で協同を進め「知の創造と人材の育成を通し、自由で平和、豊かな社会を実現する」使命をもって前進しています。

明治大学は、時代の変化に柔軟に対応しながら目覚ましい発展を続けてきました。卒業生は60万人を超え、近年は各界での活躍もますます顕著になっています。連合駿台会においても諸先輩が脈々と引き継がれてきた志や絆を大切にするとともに迫りくる少子高齢化など様々な課題に確りと対応して、変化をしていく必要があります。

大学はもとより経済・社会のあらゆる面において、IT・デジタル化の波を大きく凌駕するスピードと規模で「AI革命」の巨大なうねりが到来しています。AIがどれほど進化しても「明治の精神」や「明治らしさ」は人間にしか体現できません。

明治大学の「前へ」の精神のもとで「我々の人的ネットワーク」の力を更に強く大きく育て、次の世代へと確り受け継いでいくことが大切です。皆さまとともに連合駿台会、明治大学の発展に奮励努力してまいります。

【職歴】

昭和59年4月 野村證券株式会社 入社
(1984)
平成19年4月 執行役 営業業務本部担当兼営業企画部長
(2007)
平成20年10月 執行役員 営業業務本部担当兼営業企画部長
(2008)
平成21年4月 常務執行役員 営業部門担当
(2009)
平成23年4月 野村ホールディングス株式会社 常務執行役員
(2011) 営業部門COO 野村證券株式会社 専務執行役員 営業部門担当
平成24年4月 野村ホールディングス株式会社 執行役員
(2012) 営業部門CEO 野村證券株式会社 専務執行役員 営業部門担当
平成24年8月 野村證券株式会社 代表執行役副社長
(2012)
平成25年4月 野村證券株式会社 取締役兼代表執行役副社長
(2013)
平成26年4月 当社 顧問
(2014)
平成26年6月 当社
(2014)
平成27年6月 取締役 (代表取締役) 兼副社長執行役員
(2015)
平成27年6月 当社
(2015)
平成29年4月 取締役社長 (代表取締役) 兼社長執行役員
(2017)
平成29年4月 取締役社長 (代表取締役) 兼社長執行役員
グループCEO 野村不動産株式会社 取締役会長
(代表取締役)
令和5年4月 当社
(2023)
取締役 (現職)
(2023) 取締役会長 (現職) 野村不動産株式会社
取締役 (現職)

ご支援

ありがとうございます!!



「はい、皆さんこんばんは!」という第一声から、あつという間の10年間でした。

振り返ってみますと。平成28年(2016年)4月下旬に、山口第4代会長から突然の指名、タイへのゴルフツアー出発の朝、空港で受けた電話、断る間もなく就任。それから、どうしたら明大を代表する歴史と伝統のあるこの会への出席者を増やせるか? 大学への貢献には限られた中でどんなことができるのか? 等々、課題が続出、当山前専務。鈴木専務を中心に運営委員会の皆さまと知恵を出し合い、会員の暖かいバックアップで何とか乗り切ることができました。改めて会員の皆さまには。多大なるご支援とご協力を賜りましたこと、心より厚くお礼申し上げます。今後は、杵掛会長のもと、明治大学創立150周年記念事業への対応など、会の健全な事業運営と発展を心よりお祈り申し上げます。長い間のご支援、ありがとうございます。感謝、感謝です……

第5代会長 田村 駿

第七十二回連合駿台会総会を開催

第七十二回連合駿台会の通常総会が、令和七年五月十三日、ホテルオークラ東京2F「オーチャードルーム」で開催されました。

＊

田村会長は開会を宣言し、規約の第五章・第十三条に従い、会長が議長となり、議案の審議が進行されました。

○第一号議案

令和七年度事業報告書、収支計算書、貸借対照表・財産目録の報告、ならびに監事による監査報告承認の件

▽令和七年度の度の事業報告については、鈴木隆志専務理事から報告があった。

① 総会：第七十一回通常総会&例会(五月十三日)。② 例会：七月・暑気払い例会(七月十六日)、九月例会(九月十七日)、十一月・忘年例会(十一月十九日)、一月・駿台懇話会(二月二十八日)、三月例会(三月十八日) ③ 理事会：五回。④ その他(正副会長会(十二月四日)、新入会員歓迎会(三月五日)、日帰りバスツアー(十月十一日)、ラグビー明慶戦観戦&「懇親会」(十一月二日)、春秋ゴルフ会(五月二十日)、秋期ゴルフ会(十一月十一日)を実施。運営委員会：七回、各委員会。④ 会報発行：六回。⑤ 会員状況

：会員数は、新入会員は二十五名、退会会員も二十八名に留まり、三百八十二名となった。▽令和五年度の収支計算書・貸借対照表・財産目録については、吉田光一郎財務委員長より以下の報告・説明があった。

▽監査報告(小山修監事)

これらについて、規約第六章・第十八条の規定に基づき、令和八年五月十一日付けで小山修監事・渡邊建三監事が監査をした結果、会務の執行は当会の規約に従い、総会並びに理事会の決議に基づき誠実に行われており、一般会計はいずれも適正に処理されており、計算書類は本会の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認められた。

○第二号議案

各委員会令和七年度事業報告および令和七年度事業計画(案)・活動予算(案)、並びに収支予算(案)承認の件

▽総務・事業委員会 大野正美委員長
《令和七年度事業報告》

① 通常通りの環境に戻った本年度は、多くの会員が参加し、丁寧な運営を行うとともに、盛況な例会となった。

② 総会および例会を六回、理事会六回(持ち回り理事会含む)、運営委員会七回(臨時を含む)を開催した。五月総会は歌手・由紀さおりさん、七月例会は(株)番

匠社長・田子和則氏、九月例会は元シャネル日本代表のリシャル・コラス氏、十一月例会は脳心理学者・杉山崇氏、三月例会は明治大学教授・海野素史氏を迎え、有意義な会となった。

③ ラグビー観戦（十一月・対慶應戦）、新入会員歓迎会を昨年引き続き開催することができた

④ 五月・十一月にはゴルフコンペを開催。

⑤ バス旅行を二〇一九年以来、六年ぶりに開催することができた。

〈令和八年度事業計画・活動予算〉

① 例会（駿台懇話会を除く年五回）を立案し計画、前年に引き続き事業を円滑に進める。

② 例会出席者向上・親睦のために魅力ある楽しい例会の企画を検討する。

③ ラグビー観戦、新入会員歓迎会、ゴルフコンペは本年度も実施する。

④ 新規会員の定着、懇親のためのバス旅行を本年度も実施する。

【活動予算】 1261万円

▽組織・会員増強委員会 高澤徹委員長

〈令和七年度事業報告〉

① 委員会の開催

六回開催（Web委員会一回含む）し、入会審査の実施と、理事会上程および持

ち回り理事会（一回）等、速やかな承認手続きの遂行をした。

② 会員増強活動の推進

入会者：目標三十名

〈実績〉新規入会者二十五名

〈新規入会者内訳〉新社長就任等十一名、会員ご紹介十四名

・令和七年四月一日時点の会員数：三百八十二名

・令和七年度の実績 退会者：二十八名、入会者：二十五名↓三名減

・令和八年四月一日時点の会員数：三百七十九名

今年度も会員の皆様から多くのご紹介をいただきましたが、退会者が二十八名と多く出たことにより、前年比三名減となっていました。

③ 会員管理データベースシステムの構築

一年間かけて会員管理データベースシステムの構築を推進した。会員の出席状況の把握、例会等の出席の少ない会員の紹介者の把握、未入金者状況の把握と推薦者からの働きかけの実施等により退会者の減少に向けた取組みに活用できる体制の整備を行った。

〈令和八年度事業計画・活動予算〉

① 委員会の開催

年五回を目安に入会審査の実施と速やか

な承認（目標三十人）の手続きの遂行を行う。

② 会員増強活動の推進

新社長・役員リストによる入会活動と会員ご紹介を推進する。

会員によるご紹介の促進と、入会希望者の例会同伴費用を無料とする。

令和七年度は残念ながら女性会員の入会是一名、総勢でも十七名にとどまっている。そこで情報の収集と活用により女性会員の入会促進を図る。

③ 会員のデータベース活用による会員の出席率向上と退会者減少を図る

会員の例会等の参加状況、会費の未納状況について把握し、推薦者のご協力を頂き例会等への参加を促し、退会者の減少を図る。

【活動予算】 15万円

▽広報委員会 斎藤柳光委員長

〈令和七年度事業報告〉

① 会報を令和七年五月の三七二号から七月の三七三号、九月の三七四号、十一月の三七五号、令和八年一月の三七六号、三月の三七七号、五月の三七八号と計六回発行して、例会などの活動報告や新入会員の紹介、大学の現況などきめ細かく会員相互の情報共有を図った。

- ② ホームページについてはリニューアルに努め、会報等に連動する情報発信の充実とともに、QRコードも採用し利便性を高め、会員専用ページ新設をも推進した。
- ③ 明治大学広報紙に令和七年五月、七月、九月、十一月、令和八年一月、三月と隔月で支援広告を掲載し、住所判明校友三十七万人余など内外へ向けて会の広報に努めた。
- ④ 入会案内用の補助資料として会の沿革、活動等をまとめたパンフレットを制作した。
- ⑤ 年賀名刺広告は個人八十一人、協賛三社のご協力をいただいた。
- ① 会報は令和八年五月、七月、九月、十一月、令和九年一月、三月を刊行する。
- ② ホームページは随時リニューアルを行い、会員専用ページの活用を促進して、なるべく早期の個人占有のID、パスワード付与に向けて情報内容の充実を図る。
- ③ 明治大学広報紙の支援広告は令和八年の五月、七月、九月、十一月、令和九年一月、三月と実施する。
- ④ 会の入会案内用リーフレット等の広報資料ツールを定期リニューアルしていく。
- 【活動予算】 330万円

▽大学支援委員会 眞壁八郎委員長
《令和七年度事業報告》

- ① 第三十一回連合駿台会学術賞・学術奨励賞は社会科学、人文科学、自然科学の各分野の研究を募集、選考し、一月二十八日開催の駿台懇話会で表彰を行った。
- a. 学術賞・奈良沙織（商学部 専任教授（四十七）、社会科学『業績予想の実証分析―企業行動とアナリストを中心に』。廣部泉（政治経済学部 専任教授（六十）、人文科学『人種差別撤廃提案とパリ講和会議』
- 受賞者記念講演
- b. 学術奨励賞・金子賢太郎（農学部専任准教授（四十）、自然科学『視床下部を標的とした新しい肥満や糖尿病の栄養治療戦略に関する研究』
- ② 明治大学リバイアカデミー連合駿台会寄付講座（社会連携事務室）
- 1）春期寄付講座『唐十郎の演劇』を七月七日（月）十九・二十・三十アカデミーホールで行った。
- パネルディスカッション・伊藤真紀教授（文学部文学科演劇学専攻）、佐野史郎様（俳優、映画監督、唐十郎主宰「状況劇場」出身）、松岡和子様（演劇評論家、翻訳家）、久保井研様（劇団唐組・俳優）。
- ③ ビジネスインサイト・経営総合講座
令和七年三月九日にビジネスインサイト・経営総合講義キックオフミーティングを行い、プレゼンテーション大会は七月十九日（土）和泉キャンパスで実施し、八月五日リフレクションミーティング（出席企業五社六名、大学八名、大学支援四名）を実施した。
- ④ 留学生支援（就職キャリア支援事務室）
今年度も『外国籍社員と留学生の懇談会』を予定していたが、ご協賛企業の開拓が遅れた為、今年度は中止した。
- ⑤ 明治ビジネス・チャレンジ（新規事業）
起業家を目指すスタート・アップ事業の学内コンテスト『明治ビジネス・チャレンジ』が、今年度から経営学部主催から
- 聴講者数約540名
- 2）秋期寄付講座『小栗忠順の生涯』時代を先取りした幕臣』を二月二十八日（土）十・三十・三十二・リバティホールで行った。
- 二〇二七年NHK大河ドラマの主人公に決まった、駿河台キャンパス近隣（YWCABビル）に生誕の地がある「小栗忠順」を紹介する講座を落合弘樹・文学部専任教授（日本史学専攻）で行った。聴講者数は二百七十二名。

明治大学主催に変わり、最終選考会（三月十三日（金））に田村会長を始め、副会長、専務理事、大学支援委員会メンバーで出席し、『連合駿台会会長賞』を田村会長から授与した。

⑥ 文化活動支援

ホームカミングデー（十月二十六日）、お茶の水文化祭（十一月三十日）シェイクスピアプロジェクト（十一月七日～九日）に協賛した。

〈令和八年度事業計画〉

① 第三十二回連合駿台会学術賞・学術奨励賞国の科学分野の強化に呼応し、更に研究の強化を推進。学術賞・学術奨励賞の拡大等、科学分野ごとの顕彰等を検討。

② 明治大学リバティアカデミー講座の一つとして、連合駿台会寄付講座も春期と秋期に実施する。

1) 春期寄付講座『災禍は変革の源』を連合駿台会副会長の日本電子株式会社 社相談役栗原権右衛門様（46年商学部卒）で実施する。

2) 秋期寄付講座は未定

③ ビジネスインサイト・経営総合講座

④ 令和八年三月七日にビジネスインサイト・経営総合講義キックオフミーティングを行い、プレゼンテーション大会は七月十八日（土）和泉キャンパスで実施す

る予定。参加企業・ビジネスインサイト七社、経営総合講座四社

⑤ 明治ビジネス・チャレンジへの協賛

今年度も『連合駿台会会長賞』を授与。

⑥ 留学生就職支援

支援方法について、再度見直しを行う。

また、明治大学ビジネススクール（明治大学大学院グローバルビジネス研究科）の紹介も予定する。

⑦ 文化活動支援

好評であるホームカミングデー・お茶の水文化祭・シェイクスピアプロジェクトに協賛を継続する。

【活動予算】 415万円

▽財務委員会 吉田光一郎委員長

〈令和七年度事業報告〉

① 年会費収入は、当初予算の1660万円に対して71万円の未達となった。最近の年会費収入実績は、令和五年度が149万2000円、令和六年度1603万。

② 会費未納者数は三百七十九名中二十一名（三百八十三名中十四名）、会費未納率は五・五％（三・七％）となった。

※（ ）内の数字は、前年度末のもの、④について同じ

③ 例会費収入は参加者数が予定を上回ったことと、100万円のご協賛をいただいた

ことから当初予算6,870,000円に対し8,571,000円となり、予算を170万円上回った。

④ 総務費については、予算の6,630,000円（6,330,000円）に対し実績は6,376,407円（8,756,091円）と若干予算を下回った。

⑤ 各種委員会運営費は予算17,570,000円に対し実績は19,044,489円となり予算を上回った。

⑥ 当期の収支差額は6,589円となり、前期繰越収支差額にこれを加えた次期繰越収支差額

⑦ 当期の収支差額は6,589円となり、前期繰越収支差額にこれを加えた次期繰越収支差額

〈令和八年度事業計画・活動予算〉

① 年会費収入、例会費収入、広告費収入等の収入額に対応した支出の予算管理の徹底のため適切な情報の収集・会計処理等を行い、財務基盤が損なわれないよう、収支管理に努める。

② 年会費未納者に対する請求方法を検討し、年会費の回収率改善に努める。

③ 当会資産の活用方法等について協議する。

【活動予算】 5万円

第一号議案・第二号議案については、一括で満場一致で可決・承認された。

令和7年度 連合駿台会 収支計算書

自: 令和7年4月 1日

至: 令和8年3月31日

(単位: 円)

収入の部				実績摘要 (収入の部)
勘定科目	予算額	実績	予算比	
年会費収入	16,600,000	15,886,000	95.7%	(一般)282名、(地方)78名 (新会員入会金)25名×@50,000円
例会費収入	6,870,000	8,571,000	124.8%	5月例会…134名 7月例会…115名 9月例会…123名 11月例会…134名 1月例会…103名 3月例会…115名 延合計724名 協賛収入 1,000,000円
広告費収入	900,000	930,000	103.3%	名刺広告代
雑収入	5,000	90,285	1805.7%	みずほ普通預金・みずほ定期預金・ゆうちょ通常貯金利息
当期収入計	24,375,000	25,477,285	104.5%	
前期繰越収支差額	32,304,874	32,304,874	100.0%	
当期収入合計	56,679,874	57,782,159	101.9%	
支出の部				実績摘要 (支出の部)
勘定科目	予算額	実績	予算比	
I. 総務費				
(1) 家賃共益費	630,000	629,445	99.9%	紫紺館事務所家賃
(2) 人件費	2,500,000	2,500,000	100.0%	事務局関連業務委託費
(3) 事務・通信費	1,100,000	1,077,016	97.9%	電話代(325,651円)/郵便料(700,240円)/振込手数料ほか(51,125円)
(4) 備品消耗品	600,000	492,793	82.1%	文具代(188,443円)/発送用封筒・会員ネーム札作成&刷印代(133,760円)/名刺代(24,200円)/Wifi(57,600円)/ウイルスバスター(28,800円)/その他(59,990円)
(5) 印刷費	1,300,000	1,303,973	100.3%	コピー代(405,413円)/名簿作成料(590,000円)/リース料(208,560円)/コピー年間保守料(100,000円)
(6) 雑費	500,000	373,180	74.6%	事務局交通費(348,490円)/パソコン修理他(24,690円)
総務費計(I)	6,630,000	6,376,407	96.2%	
II. 事業費				
1.各委員会運営費				
(1) 総務・事業委員会費	9,500,000	11,760,715	123.8%	紫紺館例会費(2,288,236円)/ホテル等例会費(6,509,920円)/講演者謝礼等(1,601,873円)/正・副会長費・運営委員会費(622,858円)/各種事業費(737,828円)
(2) 組織・会員増強委員会費	150,000	237,000	158.0%	例会補助(27,000円)/会員管理データベースシステム構築費(200,000円)/虎闘会(10,000円)
(3) 広報委員会費	3,740,000	3,772,300	100.9%	会報発行費(2,085,000円)/HP運営業務委託費(360,800円)/HPリニューアル関連経費(710,600円)/明大広報広告費(500,000円)/委員会費(71,900円)/SMS連絡代(44,000円)
(4) 大学支援委員会費	4,150,000	3,244,900	78.2%	手帳賞・奨励賞賞金+副賞ほか(1,507,900円)/寄付講座経費(600,000円)/宇生支援プレゼン協賛金(150,000円)/シェークスピア(200,000円)/駿台懇話会(174,900円)/ホームカミング広告(100,000円)/明治ビジネスチャレンジ(300,000円)/お茶の水JAZZ実行委員会(200,000円)/委員会費(17,100円)
(5) 財務委員会費	30,000	29,574	98.6%	委員会費(29,574円)
各委員会運営費計	17,570,000	19,044,489	108.4%	
2.その他事業費				
(1) 慶弔費	100,000	49,800	49.8%	
その他事業費計	100,000	49,800	0	
事業費計(II)	17,670,000	19,094,289	108.1%	
III. 予備費				
事業費計(III)	75,000	0	0	
当期支出合計(I+II+III)	24,375,000	25,470,696	104.5%	
当期収支差額	0	6,589		
次期繰越収支差額	32,304,874	32,311,463	100.0%	

令和7年度 連合駿台会 貸借対照表

令和8年3月31日現在		(単位:円)	
資産の部		負債・正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(流動資産)	52,212,071	(流動負債)	1,910,908
小口現金	341,808	未払金	1,910,908
みずほ銀行・普通預金	4,571,329		
ゆうちょ銀行・通常貯金	1,775,064	(正味財産)	50,311,463
みずほ銀行・定期預金	33,000,000	1. 有志寄付金	18,000,000
大和証券・M. M. F.	12,463,870	2. 次期繰越収支差額	32,311,463
未収入金	60,000		
(固定資産)	10,300		
電話加入権	10,300		
資産合計	52,222,371	負債・正味財産合計	52,222,371

令和7年度 連合駿台会 財産目録

令和8年3月31日現在		(単位:円)	
科 目		金 額	
1. 資産の部			
(1)流動資産	52,212,071		
小口現金	341,808		
みずほ銀行・普通預金	4,571,329		
ゆうちょ銀行・通常貯金	1,775,064		
みずほ銀行・定期預金	33,000,000		
大和証券・M. M. F.	12,463,870		
入会金等未収入金	60,000		
流動資産合計		52,212,071	
(2)固定資産			
電話加入権	10,300		
固定資産合計		10,300	
資 産 合 計			52,222,371
2. 負債の部			
3月例会費未払金	1,910,908		
流動負債合計		1,910,908	
負 債 合 計			1,910,908
正 味 財 産			50,311,463

○第三号議案

規約の一部改定について

1) 意図

- ・様々な活動が多岐にわたるため委員会の充実を図る必要がある。
- ・退会防止の為に、新会員にも運営を手伝ってもらって、親睦を深めたい。
- ・理事以外の会員も積極的に委員会活動に参画することにより会の活性化を図る。

2) 今回の提案骨子

『委員会の委員に理事以外の会員を加えることができるようにする。』

3) 具体的な内容

- ・規約の変更
「委員長は理事以外の会員を委員に推薦し理事会の承認を得ることができる。但し、委員会委員は、理事が半数以上にて構成されなければならない。」
「原則として、理事は入会3年を経過した会員の中からの選考をする。」

4) 改定文言

【改定前】(委員会)

第19条

本会は事業の円滑な遂行を図るため、

委員会を設けることができる。

2 委員会はその目的とする事項について、調査し、研究し、事業を推進する。

3 委員会の組織及び運営に関して必要な事項は、理事会の議決を得て、会長が別に定める。

【改訂後】(委員会)

第19条

本会は事業の円滑な遂行を図るため、委員会を設けることができる。

2 委員会はその目的とする事項について、調査し、研究し、事業を推進する。

3 委員長は理事以外の会員を推薦し理事会の承認を得て担当委員とすることができる。但し、担当委員は、理事が半数以上にて構成されなければならない。

4 委員会の組織及び運営に関して必要な事項は、理事会の議決を得て、会長が別に定める。

以上

令和8年度 予定表

	年	月日・曜日	開始時間	会 場	講師・出演者等	備 考
例会	令和8 (2026)	7月15日(水)	17:30	明治大学「紫 紺 館」	未 定	7月暑気払い 例会
		9月16日(水)	17:30	ロイヤルパークホテル「有明の間」	未 定	9月例会
		11月18日(水)	17:30	明治大学「紫 紺 館」	未 定	11月忘年例会
	令和9 (2027)	1月中旬～下旬	17:30	明治大学「アカデミーコモン」	学術賞受賞者記念講演	「駿台懇話会」
		3月17日(水)	17:30	ロイヤルパークホテル「有明の間」	未 定	3月例会
	*次年度	5月14日(金) (予定)	17:30	ロイヤルパークホテル「春海の間」 (予定)	未 定	定時総会
その他	令和8 (2026)	※6月18日(木)	19:00	春期寄付講座	日本電子㈱相談役栗原権右衛門氏	※希望者は事務局まで
		※7月18日(土)	未定	明治大学「和泉校舎」	ビジネスインサイト・経営総合講義 プレゼンテーション大会	※希望者は事務局まで (若干名)

※は「大学支援委員会」主催のイベントです。
・総務・事業委委員会では、秋頃に、会員親睦のための事業(ゴルフ会、バス旅行、ラグビー観戦など)を計画中です。また来年2月頃には、新入会員歓迎会も開催予定です。
・1月例会は大学側との調整もありますので、決まり次第ご連絡します。大学支援委員会では、11月頃、「秋期寄付講座」を開催いたします。

令和8年度 連合駿台会運営組織表

令和8年5月15日 現在

《理 事 会》	
《会長》 杓掛 英二	
《副会長》 山田 憲典 青柳 勝栄 山田 朝彦 畠中 君代 徳丸 平太郎 向井 眞一 浅井 宏 栗原 権右衛門 中川 敏洋 三枝 富博 山本 良一 木下 唯志 西澤 豊 坂田 正弘 狩野 省市 佐野 公哉 池田 一義 河村 博 谷川 薫 木村 健一 片倉 正美 《特別顧問》 山口 政廣 田村 駿 北野 大 《顧問》 根田 哲雄 児玉 圭司 前川 一郎 村田 嘉一 村岡 健 有賀 隆治 齋藤 柳光 佐藤 仁 小山 修 高澤 徹 長谷川進一 潮田 伊佐夫 杉浦 伸二 大原 幸男 伊原 敏雄 並木 洋一 関根 均 当山 明彦 宮下 隆	運営役員 《専務理事》 鈴木 隆志 《常務理事》 眞壁 八郎 平田 静子 吉田 光一郎 馬場 範夫 大野 正美 《常任理事》 松崎 優子 富流水 孝二 栢森 靖 二井 康夫 樽見 俊之 石川 均 弓野 理恵 安達 明正 原 宏 室井 恵明 鬼塚 和也 谷原 誠 根田 吉雄 塙 英幸 相臺 志浩 《理事》 大前 実之 高橋 郁夫 古賀慎一郎 幡谷 公朗 中野 祥宏 林 威樹 阿部 倫明 辻井 知明 古本 英樹 大石 哲也 関口 勝裕 坂本 孝行 真家 裕介 村山 友彦 山口 大介 佐藤 陽子 神林 光 泉山 和久 《監事》 渡邊 建三 中根 武
＜総務・事業委員会＞ 委員長 大野 正美 副委員長 二井 康夫 室井 恵明 鬼塚 和也 塙 英幸 理事委員 永井 伸彦 阿部 倫明 辻井 知明 真家 裕介 村山 友彦 山口 大介 佐藤 陽子 神林 光 泉山 和久 委員＊ 平田 桂子 水澤 元博 ・例会の運営、講師などの交渉 ・新年会、バス旅行、オープンゴルフ会など親睦活動の開催 ・その他、大学関係のイベントへの参加奨励など	
＜組織・会員増強委員会＞ 委員長 馬場 範夫 副委員長 栢森 靖 樽見 俊之 弓野 理恵 原 宏 理事委員 中野 祥宏 古本 英樹 関口 勝裕 委員＊ 久保田優子 ・新会員増強のため種々のプログラム実施 ・新会員入会審査 ・長期的に見た会員入会基準のスタディと新提案	
＜広報委員会＞ 委員長 平田 静子 副委員長 根田 吉雄 相臺 志浩 理事委員 大石 哲也 坂本 孝行 委員＊ 橋本 元 長尾 睦子 安藤 正浩 ・会報の発行並びに編集 ・ホームページの維持・管理 ・会員間の情報交換を促進	
＜大学支援委員会＞ 委員長 眞壁 八郎 副委員長 富水流孝二 石川 均 安達 明正 理事委員 大前 実之 高橋 郁夫 幡谷 公朗 林 威樹 ・大学が求める支援プログラムについて個々に検討、支援の実施 ・学術賞の報奨金、対象者などについて効果的な支援策の検討 ・寄付講座など大学への諸行事の支援プログラムの計画・実施	
＜財務委員会＞ 委員長 吉田光一郎 副委員長 松崎 優子 谷原 誠 理事委員 古賀慎一郎 ・入会金、年会費、広告料など、当会資産の管理 ・当会資産の活用方法について協議、使途などの提案 ・新しい大学支援システムなどへのアドバイス	
＜運営委員会＞ … 会長・専務理事・各委員長 ・各委員会活動状況に関する、情報シェアおよび意見交換 ・連合駿台会全体の活動についての提案と討議	
1. 理 事 会 … 会長・副会長・専務理事・常務理事 常任理事・理事・特別顧問・顧問・監事 2. 各委員会 … 委員長は常務理事、副委員長は常任理事 委員の半数以上を理事で構成 理事以外の委員は委員＊に記載 3. 必要に応じて正副会長会を開催することができる	

令和8年度 連合駿台会 収支予算

自: 令和8年4月 1日
至: 令和9年3月31日

収 入 の 部		摘 要 (収入の部)
勘定科目	予算額	
年 会 費 収 入	17,100,000	(一般) 300名 × @50,000円 = 15,000,000円、(地方) 60名 × @10,000 = 600,000円 (新入会員入会金) 30名 × @50,000円 = 1,500,000円
例 会 費 収 入	8,940,000	紫紺館等 110名 × 3回 × @7,000円 = 2,310,000円 ホテル ①140名 × 1回 × @20,000円 = 2,800,000円 10名 × 1回 × @23,000円 = 230,000円 ②120名 × 2回 × @15,000円 = 3,600,000円
広 告 費 収 入	900,000	名刺広告
雑 収 入	100,000	預金利息
当 期 収 入 計	27,040,000	
前 期 繰 越 収 支 差 額	32,311,463	
当 期 収 入 合 計	59,351,463	
支 出 の 部		摘 要 (支出の部)
勘定科目	金 額	
I. 総務費		
(1) 家 賃 共 益 費	630,000	紫紺館事務所家賃
(2) 人 件 費	2,500,000	事務局関連業務委託費及び会報発行業務費等
(3) 事 務・通 信 費	1,100,000	電話代/例会資料等発送費/振込手数料ほか
(4) 備 品 消 耗 品	600,000	発送用封筒代/文具代/会員ネーム札作成代ほか
(5) 印 刷 費	1,300,000	コピー関連費用/名簿製作費ほか
(6) 雑 費	500,000	事務局交通費/渉外費ほか
総務費計(I)	6,630,000	
II. 事業費		
1. 各委員会運営費		
(1) 総 務・事 業 委 員 会 費	12,610,000	紫紺館例会費(2,310,000円)/ホテル等例会費(7,830,000円)/講師等謝礼(1,000,000円)/正・副会長費、運営委員会費(600,000円)/各種事業費(800,000円)/諸経費(70,000円)
(2) 組 織・会 員 増 強 委 員 会 費	150,000	委員会費(50,000円)/会員増強活動費(100,000円)
(3) 広 報 委 員 会 費	3,300,000	会報発行費(1,615,000円)/HPの管理・維持・リニューアル関連経費(935,000円)/入会案内リーフレット(200,000円)/大学支援広告費(500,000円)/委員会費(50,000円)
大 学 支 援 委 員 会 費	4,150,000	学術賞・学術奨励賞および副賞(1,900,000円)/寄付講座および諸経費(750,000円)/ビジネスインサイト「学生対抗プレゼン大会」副賞諸費用(500,000円)/ビジネス・チャレンジ「連合駿台会会長賞」副賞(300,000円)/「留学生就職支援」関連費(100,000円)/ホームカミングデー・お茶の水文化祭・シェイクスピアプロジェクト(500,000円)/委員会費(100,000円)
(5) 財 務 委 員 会 費	50,000	委員会費(50,000円)
各 委 員 会 運 営 費 計	20,260,000	
2. その他事業費		
(1) 慶 弔 費	100,000	
そ の 他 事 業 費 計	100,000	
事業費計(II)	20,360,000	
III. 予備費	50,000	
当 期 支 出 合 計 (I + II + III)	27,040,000	
当 期 収 支 差 額	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額	32,311,463	

連合駿台会五月例会

「宇崎竜童

弾き語りライブ開催！」

歌手 宇崎竜童さん

※ライブの主旨は以下の通りです。

＊

第二部では、田村駿会長の軽音楽クラブの後輩であり、今年八十歳を迎える宇崎竜童氏（一九六九年法学部卒）による弾き語り・



トークショーが開催されました。学生時代にロック、カントリー、ディキシーランドジャズ等を学び、後に作曲家として内藤やす子さんへ提供した「想い出ほろぼろ」がレコード大賞作曲賞を受賞したのをきっかけに、山口百恵さんへの「プレイバックpart2」など、多数のアーティストへの提供実績が叶った。ダウンタウンブギウギバンド時代に資生堂CMソングで五十組規模のオーディションが行われ「サクセス」という曲がCMソングに採用され、その結果大ヒット、それまで女性アーティストが歌うのが通例だった資生堂など化粧品のCMソングで、男性アーティスト起用の潮流に影響を与えた。

俳優として、映画「駅STATION」で明治大学の先輩で俳優の高倉健さんや、田中邦衛さんと共演した冬の北海道口ケバスでの撮影秘話では、撮影中の演技に対する姿勢について感銘を受けたエピソードが披露されました。

楽曲披露の際に、会社経営など重い責任を背負っている会場の皆さんに「我慢をこの場で外してください」と呼びかけると、手拍子や掛け声を求め、コール&レスポンスを行いステージと会場が一体感で包まれるステージとなりました。最後には宇崎竜童さんから田村会長への花束贈呈が行われ終始盛り上がる最高のステージとなりました。



【講師略歴】

宇崎竜童（うさき りゅうどう）

1946年生まれ、東京都出身。1973年にタウン・タウン・ブギウギ・バンドを結成しデビュー。「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」「スモーキン・ブギ」など数々のヒット曲を生み出す。作曲家としても多数のアーティストへ楽曲を提供。阿木燿子とのコンビで、山口百恵へ「横須賀ストーリー」フレイバックpart2「さよならの向う側」など多くの楽曲を提供、山口百恵の黄金時代を築いた。1976年内藤やす子の「想い出ぼろぼろ」で日本レコード大賞作曲賞受賞。映画音楽では『駅—STATION』（東宝1981年）『社葬』（東映1989年）などで日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞。舞台音楽では『ロック曾根崎心中』『天保十二年のシェイクスピア』（2006年）で、読売演劇大賞優秀スタッフ賞を受賞。阿木と共に力を注いでいるライフワーク作品『AY曾根崎心中』では音楽監督を務めている。自身のライブの他、映画・舞台音楽の制作、俳優等で幅広く活動中。2019年、阿木燿子と共に岩谷時子賞特別賞受賞。

2023年、デビューから50周年を迎えるのを記念して「宇崎竜童 50th anniversary 弾き語りLIVE JUST GUITAR JUST VOCAL」を各地で開催。

◆新入会員ご紹介

前会までの理事会で承認され、入会された方をご紹介します。（敬称略）



たいら よしお
平 善昭
昭和六十二年・商学部卒
税理士法人早川・平会計
代表社員
千葉県船橋市在住



たなか あきこ
田中 亜紀子
昭和六十年・短大経済学部卒
田中税理士事務所
所長
東京都新宿区在住



おおばやし としや
大林 俊也
平成十二年・政経学部卒
大和証券(株)
執行役員 フライヘートバンク部長
神奈川県横浜市在住



さの ゆたか
佐野 豊
昭和五十二年・商学部卒
フジ企画(株)
取締役副社長
神奈川県横浜市在住



あおき ゆう
青木 裕
平成十三年・経営学部卒
ビジネスコーチ(株)
執行役員事業開発本部事業開発部長
神奈川県横浜市在住



わかばやし ゆうじ
若林 勇二
平成七年・法学部卒
(株)クリテック工業
代表取締役
東京都港区在住

連合駿台会ホームページ 会員専用ページ開設のご案内

令和 8 年 5 月 15 日
連合駿台会広報委員会

平素より連合駿台会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

連合駿台会ホームページは、会の活動に関する各種情報の共有および連携の強化を目的とし、活動報告や関連資料を掲載しております。このたびホームページ内に会員の皆様に限定した「**会員専用ページ**」を新たに開設いたしました。会員専用ページでは、**各種会合のご案内や会報バックナンバー、新入会員紹介が閲覧いただけます。**

会員の皆様におかれましては、適宜ご活用賜りますようお願い申し上げます。

■ ご利用にあたってのお願い

本ページは、会員の皆様のみを対象とした情報共有の場として、共通の ID およびパスワードにより運用いたします。その趣旨をご理解のうえ、下記につきご協力をお願い申し上げます。

- ID およびパスワードは、**会員以外の第三者へ開示されないよう**ご配慮ください
- 本ページに掲載される情報につきましても、**適切なお取り扱い**をお願い申し上げます

本会の円滑かつ有意義な運営のため、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ アクセス情報

URL: <https://membership.rengosundaikai.jp/>

ID rengosundaikai1953

パスワード meisuimeiyu2002

[https://membership
.rengosundaikai.jp/](https://membership.rengosundaikai.jp/)



◆五月総会・例会出席者

青柳勝栄、浅井宏、安達明正、阿部倫明、荒井幸雄、有賀隆治、池田一義、同ご同伴、石川かおり、石川均、同ご同伴、石田和士、石松喜典、伊東正博、伊原敏雄、上田廣一、同ご同伴、宇川一夫、潮田伊佐夫、梅野修、浦川竜哉、江成健一、同ご同伴、榎本知佐、同ご同伴、大下哲哉、太田良治、大野雅生、大野正美、大原幸夫、大前実之、大村託現、小川辰志、小座間善隆、鬼塚和也、加賀美猛、風間淳、金山貴博、金子圭太、狩野省市、栢森靖、百木田康二、河村博、神林光、木村健一、沓掛英二、久保聡、久保田優子、栗林伸治、栗原権右衛門、黒崎昭男、児玉圭司、小林伸弘、小松健、小山修、小山有彦、根田哲夫、根田吉雄、齋藤柳光、酒井喜壽、坂井寿如、坂田英夫、坂田正弘、佐藤仁、同ご同伴、佐藤陽子、佐野公哉、志田憲彦、柴田清之、杉浦伸二、鈴木章浩、鈴木一巳、鈴木隆志、同ご同伴、関口勝裕、関根均、相臺志浩、高岡香、高澤徹、田口幸隆、同ご同伴、武内裕田中彰一、田中等、谷川薫、田村駿、田村健、樽見俊之、当山明彦、徳丸平太郎、戸田琢哉、富水流孝二、永井伸彦、長岡利行、長岡信裕、中川敏洋、中野祥宏、中村康一、中村豊、二井康夫、新田晃、根岸伸明、野口一哉、野田康平、萩原裕次、橋本元、長谷川進一、畠中

君代、幡谷公朗、鼻戸勝紀、同ご同伴、塙英幸、馬場範夫、濱田憲孝、林威樹、原宏、飛彈健一、平田桂子、平田静子、深代尚夫、福見勉、藤代耕一、同ご同伴、古本英樹、堀越孝、真家裕介、眞壁八郎、榎野泰、三浦栄治、宮澤一洋、向井眞一、村山友彦、室井恵明、安田信幸、柳内光子、柳谷孝、山口大介、山口政廣、山口又宏、山田憲典、山田幸夫、同ご同伴、弓野理恵、吉田光一郎、同ご同伴、渡邊建三、渡邊容子



【編集後記】

このたび、連合駿台会の広報委員長を拝命することになりました。

たまたま、私が股関節の手術を数日後に控えていた日だったので、驚くやら焦るやら不安やらが大きく、かなり動揺しました。

しかし、新しい広報チームの応援と、団結力が素晴らしく「チームお静でがんばりましょう」とエールを送ってくれ、元氣と勇氣百倍!!

連合駿台会の新体制のもと先輩諸氏のアドバイスをいただきながら、さらなる連合駿台会の飛躍になるよう、広報チーム全員でがんばります。

さらに面白い、役に立つ、新しい情報を発信できればと思います。

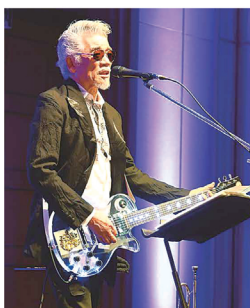
会員の皆様からの投稿も期待しています。

これからも応援よろしく願っています。

(平田静子)



経済、法曹、文化など各界でご活躍の明治大学校友諸氏よ！ 来たれ！「連合駿台会へ！」



「連合駿台会」は、1953年に設立された「茗水クラブ」と、1964年に設立された「明友クラブ」が2002年に統合して設立された歴史と伝統のある校友組織です。

5月15日、ホテルオークラ東京にて第72回連合駿台会通常総会が開催され、150人を超える参加がありました。

今総会では役員の改選があり、長年にわたり当会の発展にご尽力された田村駿前会長から沓掛英二新会長にバトンが引き継がれ、各委員会も刷新され新体制となりました。

懇親会では、学校法人明治大学柳谷孝理事長のごあいさつと乾杯で幕を開け、おいしい料理や、歌手・作曲家・俳優などマルチに活躍する宇崎竜童氏（1969年法学部卒）によるコンサートとトークで大いに盛り上がりました。

連合駿台会では、例会や講演会をはじめ新年会や親睦事業などさまざまな会員交



（左から）田村前会長 沓掛新会長

流の機会があり、特に話題の講師による講演が人気です。ぜひ、楽しい例会に参加してみませんか。

~~~~~ 各界で活躍されておられる明治大学校友のご入会を歓迎いたします ~~~~~

資料のご請求はこちらまで

**連合駿台会事務局**

TEL : 03-3296-4747 FAX : 03-3296-4748  
Email : rengousundaikai@silk.ocn.ne.jp

連合駿台会

検索



★明治大学広報(7月1日号)に掲載された大学への支援広告。今後も2ヵ月に1回掲載していく予定です。